

今回、NEGA C 201（自家発電設備の出力算定法）が、ディーゼル機関の高過給化による負荷投入特性の変更、ガス機関の主流が三元触媒方式から希薄燃焼方式に代わるなどの変更や自家発電設備を検討するうえでより多彩な検討が行えるよう負荷ごとに需要率を設定できるようにするなどの改正が行われました。従来からご利用いただいております自家発電の出力算定ソフトウェア（NH1）は、このNEGA C 201に基づいて作成されています。今回この規格が改正されたため、NH1ソフトも改正を行ったものです。

## 1. Ver.3NTからの変更点

### (1) 対応OS

Microsoft Windows2000及びXP上で動作します。

### (2) 諸元値、計算方法の変更

- ① 原動機の負荷投入特性等の諸元値を変更  
ディーゼル機関、ガス機関（三元触媒方式）、ガスタービンの諸元値を変更しました。  
また、ガス機関については希薄燃焼方式の諸元値を追加しました。
- ② 発電機効率を変更  
発電機効率を変更しました。
- ③ 負荷ごとの需要率設定  
負荷表に記載する負荷1つ1つに需要率を設

定できるようにしました。

（負荷の需要率（ $D$ ）やベース負荷の需要率（ $d$ ）を変更する方法も従来どおりご利用いただけます。）

### (3) 操作性の向上

- ① 記号のタイトルを画面・帳票に追加  
最大最終投入方式の様式-3、様式-4と順次投入方式の様式-13、様式-14に記号 $RG_1$ 、 $RG_2$ 、 $RG_3$ 、 $RG_4$ 、 $RE_1$ 、 $RE_2$ 、 $RE_3$ のタイトルを記載しました。
- ② 単機始動負荷のグループ記号の変更（最大最終投入方式）  
単機で始動する負荷のグループ記号を“単”としました。
- ③ 負荷投入グループ数の増大（順次投入方式）  
順次投入方式の投入負荷グループを99グループとしました。

### (4) 旧バージョンとの互換性

- ① Ver.2、Ver.3、Ver.3NTのデータを活用できます。  
（データ読み込み後、Ver.3.1で追加となった項目の入力が必要です。）
- ② 保存時には、自動的にVer.3.1のファイル名（拡張子『.NHF』）となるため旧バージョンのデータは上書きされません。  
Ver.2の拡張子は『.NHD』、Ver.3、Ver.3NTの拡張子は『.NH3』です。

## 2. 販売価格

	ライセンス	定価（消費税込み）	会員価格（消費税込み）
買換えユーザ	1ライセンス	130,000円（136,500円）	90,000円（94,500円）
	複数ライセンスで2ライセンス目以降 ※	100,000円（105,000円）	70,000円（73,500円）
新規ユーザ	1ライセンス	180,000円（189,000円）	140,000円（147,000円）
	複数ライセンスで2ライセンス目以降 ※	150,000円（157,500円）	110,000円（115,500円）

※ USB キー 1 個に、複数のライセンスを入れた場合の 2 ライセンス目以降 1 ライセンス当たりの価格です。

## 3. 購入方法

購入申込書に必要な事項をご記入の上、内発協までお申込下さい。購入申込書は、内発協ホームページより、ダウンロードしていただくか、パンフレットに添付のものをご使用下さい。

## 4. 買換えユーザについて

現在 NH1 Ver.3 及び Ver.3NT をご使用いただいているユーザの方には、上記表の買換えユーザ価格を適用させていただきます。購入申込書の備考欄

に現在ご使用の NH1 Ver.3、Ver.3NT のシリアルNo. をご記入の上、申し込んで下さい。

買換えユーザ価格の適用は、1つのシリアルNo.につき、1ライセンスとさせていただきます。

また、Ver.3NTを買換えユーザ価格で購入しているVer.3のシリアルNo.は使用できません。

## 問い合わせ先

総務部 浅沼、青木（電話）03-5439-4391

URL：http://www.nega.or.jp/